

第373回放送番組審議会

1 日 時 2017年3月14日(火)14時～15時30分

2 場 所 tvk 第1会議室

3 委員総数 8名 出席者5名、欠席者3名 五大路子委員、伊藤有壱委員、二宮務委員

出席委員; 山田一廣委員長、布施勉副委員長、白石俊雄委員、林義亮委員、吉川知恵子委員
tvk;中村社長、押川取締役、大谷コンテンツ局次長、三枝プロデューサー、近藤編成部長

4 議 題 (1)放送番組

資料:①3月のタイムテーブル

②3月～4月の特番一覧表

(2)視聴合評

『ハマナビ』シリーズ18区 vol.10 ズバリ!青葉区

2017年3月4日(土)18時～18時30分

(3)その他 報告事項

・視聴者対応

報告期間:2017年2月18日(土)～2017年3月10日(金)

・第372回(2月)放送番組審議会の議事報告

(「猫のひたいほどワイド」2017年3月14日放送VTR)

5 議事内容 2ページ以降に記載

6 審議期間の答申または改善意見に対してとった措置及びその年月日

7 審議機関の答申または意見の概要を公表した内容・方法及び年月日

(1) 2017年3月14日(火)「猫のひたいほどワイド」(12:00～13:30)の

「放送番組審議会からのお知らせ」コーナーで審議内容を司会者が報告

(2) 審議概要を当社インターネットホームページに掲載

近藤編成部長

まだ五大先生がいらっしゃっていませんが、定刻となりましたので、第373回テレビ神奈川放送番組審議会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたしますします。

山田委員長

それでは始めさせていただきます。東日本大震災から6年が経過して、被災地の方は「6年しか経っていないのか」「もう6年経ったのか」と、様々だと思いますし、いろいろ人生が変わった人もたくさんいらっしゃるかと思います。私事で大変恐縮でございますが、私も被災地に何度も取材に出かけたことがきっかけになりまして、これまで思いもよらなかったことを経験することになりました。4年ほど前から防災をテーマとしたNPO法人の活動をしておりまして、被災地で見たこと、聞いたこと、感じたこと、考えたこと、こうしたことをいろいろなところで講演させていただいております。現地、岩手県宮古市の中学校でも講演いたしましたし、東京の調布、それから横浜では今日五大さんはまだお見えになっていませんけれども、五大さんの母校でも講演させていただきました。あさって16日は新潟県見附市というところに行きまして、見附市の中学生に東日本大震災の津波の恐ろしさ、そういったものを伝えたいと思っております。次の4月の番組審議委員会は、この東日本大震災のことをテーマにした放送ですので、委員の皆さんがどんな意見を述べてくれるのか、今から楽しみです。それでは第373回目の番組審議委員会を始めさせていただきます。では、中村社長の方からお願いいたします。

中村社長

はい。本日もお集まりいただきまして、ありがとうございます。今委員長からもございましたように、今年の3. 11、その前々日ぐらいからですか、各局いろいろな特別番組を組んでいるのを見させていただき、また私どもも来月合評いただきますが、「僕の電気」という特番を組ませていただきました。改めて11年のことを思い出します。私は地震のときは東京で、わが社とは別の場所

の会議がちょうど終わったところで、何があったんだかまるでわからない。私は iPhone なんですが、その時も iPhone でした、ワンセグが見られない。ひょっとしたら先生方の間にいわゆる昔の携帯、ガラケーといっていますが、あれだとワンセグが見られる、つまり地上波のテレビがそれで見られるというのがついているんですが。もう、「何があったんだろう」と、ぞろぞろ出て来た方がガラケーを持っている方の周りにワーツと集まって、テレビを見て「えー、こんなになっているのか」というのをそこでもって、「さっきの地震はこんなすごいことになっているんだ」と、初めて知るといような場面にも遭遇しました。今 iPhone が世の中で一番出回っているそうございまして。私もここに外付けでピッとつけてテレビが見られるアダプタを持ってまして、いざという時はそれで見られるということになっています。なかなか周知ができていないということもあろうかと思いますが。そうした意味も含めて、やはり地上波である、つまりインターネットはそういうときは全くつながらなくなっちゃったわけで、radikoで聴こうとしたんですが、radikoもつながらない。インターネットのそういう時の脆弱さを身を以て体験したということです。そういう意味で地上波の役割ということ今年各局の番組、私どもの番組を見ながら、改めて地上波の大切さ、いざというときにやはり私たちの果たすべき使命というものを実感したところございまして。そんなような感想を申し上げて、本日のご挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

山田委員長

ありがとうございました。それでは本日の議題に沿って進めてまいりたいと思います。まず放送番組について。お手元の3月のタイムテーブル、3月4月の特番一覧表を参照していただきながら、事務局からお願いいたします。

近藤編成部長

では、配布してございますタイムテーブルからご紹介させていただきます。表紙は「saku saku」になっております。表紙にもありますように 2000 年から

2017年。「saku saku morning call」という番組から、1997年から2017年、約20年間、音楽情報バラエティとして編成してきました番組ですけれども、この3月をもって終了させていただきます。ロゴの方は旧「saku saku」と新しい「saku saku」のロゴを配したもので、今MCをしていただいている6代目のMC、NANAEちゃんと、さわやか五郎、鈴木啓太君、この二人、そしてポンモップという形で最後の表紙となります。めぐりまして2ページ目です。イベントの方が3月にいろいろありますので、それをご紹介させていただいています。「saku saku」もラストライブということで、3月25日、横浜ベイホールで行います。7!!、カサリンチュ、上々軍団、ダイスケ、カンカン、トミタ菜、黒幕と、今まで「saku saku」を盛り上げてくれた人たちに出演していただいて、ラストライブということで飾りたいと思います。その後3月25日～6月4日、tvkも参画しております「全国都市緑化よこはまフェア」というものがございます。このキャラクターは今日ご欠席ですが、伊藤先生が作られたものです。また3月26日に、4月から編成しました「猫のひたいほどワイド」が、1周年ということもありまして関内ホールでイベントを2回公演させていただきます。その後も「日本×アジアの美の競演 SAKURA COLLECTION」ということで、こちらも私どもが協力させていただいておりますので、ご紹介しました。その下になりますが、「かながわ旬菜ナビ」「LOVE かわさき」「あっぱれ！KANAGAWA 大行進」「Up To Date」とレギュラーの番組のご紹介です。また来月、もう放送は土曜日に終わってしまいましたが、「僕の電気」。社長からもご紹介させていただきました。タイムテーブルをめぐっていただきまして、一番最後のところ、「KICK OFF F・Marinos」「ファイフロ」と、サッカー応援番組が載っております。マリノスの方も前回の放送番組審議会でご紹介させていただきましたが、2月にマリノス対浦和レッズの開幕試合を久々に編成いたしまして、視聴者にはかな

り好評を得たと考えております。また、「Ride & Life」こちらも4月立ち上げの番組でしたが、残念ながら3月で終了となります。2月25日から3月11日まで藤井フミヤさん、3月18、25と岩城滉一さん、バイク好きの大物ですけれども、ゲストに出ていただいてお送りします。「監獄学園」、こちらは購入ですが、編成しております。続きましてこれも前回ご紹介させていただきました、「全国社会人大会決勝 神戸製鋼対三洋電機」。3月26日日曜日の19時55分から21時50分で、こちらの方は群馬テレビさんの方で、もともと三洋電機さんのつながりもありますので、群馬テレビさんの方でもオンエアを検討していただいております。また「神奈川県家庭婦人バレーボール大会」。こちらは先々週土日に行われましたが、本日と明日ということで18時30分から20時で編成をしております。後はスペシャルプログラム一覧、「キンシオ」のDVD、「俺旅。」のDVD、後援一覧となっております。一番最後の裏表紙は先ほどもご紹介させていただきました「全国都市緑化よこはまフェア ガーデンネックレス横浜2017」ということで、横浜市各地で色とりどりの花に囲まれていくのかなと思っております。また右下の方に林市長と三上さん。三上さんは「猫のひたいほどワイド」のレギュラーを務めておりまして、ガーデン王子としてNHKのEテレでもレギュラー番組を持っているので、大使として横浜市の方に迎えられており、一緒に写真を添えさせていただきました。タイムテーブルは以上です。続きまして「特別番組一覧」になります。表裏です。3月の特別番組に関しましては、前回2月の番組審議会でご紹介させていただきました、変更点として3月30日「2017年開幕前夜 I★YOKOHAMA ベイスターズスペシャル」まだ仮タイトルですが、これを開幕直前ということで編成させていただきます。内容としては、3月23日のみなとみらいクィーンズサークルの方でベイスターズの壮行会が行われるので、そちらの模様を中心にお送りし

たいと思います。その後「川崎競馬中継」がドンドンとありますが、来年度川崎競馬中継、60開催日以上をSV2でオンエアすることが決定しています。その後4月15, 16日、「ボートレース マスターズチャンピオン」。まだ仮編成ですが、三重テレビさんの方からボートレース場からの中継になります。4月29日、30日の「ノジマチャンピオンカップ 箱根シニアプロゴルフトーナメント」。こちらは4月20日21日に箱根カントリークラブで行われるノジマさんのカップですが、BS-TBSさんが制作されて、そちらの素材を利用して私どもでは4月29日、30日の土日で編成させていただきます。特別番組一覧は以上になります。そして引き続き、小冊子でございます。『2017年4月編成』、4月編成がほぼ固まりつつあったので、ご紹介させていただきます。tvkは来年度で45周年を迎えることとなります。45周年から50周年に向けていろいろな改編や取り組みを進めていきたいと考えております。「関内デビル」こちらも以前番組審議会でご案内させていただいたかと思いますが、これが「saku saku」に続く新しい音楽情報バラエティになります。「saku saku」は朝の7時で編成していました。朝のベルトはやめまして、23時30分の月曜日から金曜日という形になります。小林龍二君という「DISH//」という非常に人気の、今や武道館をパンパンにするようなグループと、加村真美さん。この方は岩手県出身で、岩手県の放送局さんではレギュラー番組をお持ちだったり、ローカルのテレビCMに出たり、かなり知名度の高い方です。加村真美さんも昨年東京に住まわれるようになって、これから東京で芸能の幅を広げていきたいということで、またオーディションの中で選びまして、出演していただきます。それともう一人、大場英治。もともと菊谷ディレクター。もともと「saku saku」をずっと、木村カエラちゃん時代に作っていたディレクターをもう一度起用しまして、この「関内デビル」は制作しようと思っております。続きまして「吉田山

田のドレミファイル」。「吉田山田のオンガク開放区」ということで、編成していましたが、吉田山田さん自体のご出演はそのままに、「吉田山田のドレミファイル」という形でタイトルも変更させていただきましてオンエアいたします。それと今、月曜から金曜日 24 時から 24 時 30 分ですが、今も音楽番組で「洋楽天国」等々で並べていますが、月曜日から金曜日で「ミュートマ2」というタイトルで編成しました。「ミュートマ」というのは、やはり音楽のtvkの中ではなくてはならない番組タイトルと考えまして、今回月曜日から金曜日に「ミュートマ」という名前を使いまして、24 時から 24 時 30 分編成します。これによって 23 時 30 分に「関内デビル」、24 時からは「ミュートマ2」という、一番tvkでは大きな音楽番組をすべて改編するという形で進めています。続きましては「猫のひたいほどワイド」「Up To Date」「NEWS930 α」「ニュースハーバー」。「NEWS930 α」につきましては、三崎幸恵とトーマスサリー、この二人体制で次年度はお伝えします。続きまして、「あっぱれ！KANAGAWA 大行進」「かながわ旬菜ナビ」「カナフル TV」「ハマナビ」「LOVE かわさき」と、こちらの方もございます。そしてベイスターズですけれども、4 月 4 日から、本拠地開幕からtvkは中継いたします。全 34 試合。恐らくこの後本拠地最後の試合があるかもしれませんので、そうすると 35 試合ということもありますが、今のところ 34 試合が決定しています。開幕の「ベイスターズ対東京読売ジャイアンツ」、3 連戦オーダーしていましたが、4 月 5 日はどうしてか TBS さんが編成するということで、4 月 4 日と 6 日の巨人戦を皮切りに全 34 試合をオンエアします。その後「KICK OFF F・Marinos」「ファイフロ」「Spirit ベルマーレ TV」と、こちらの方もございます。「Spirit ベルマーレ TV」は前回 4 月編成では毎週の編成ですが、月 1 回という形の番組になっております。続きまして音楽番組です。「洋楽天国 EXXTRA」「洋楽天国+」「ROCK CITY」こちらの方は今年度と変

ならず次年度も編成します。ご紹介しましたが、サブチャンネルで川崎競馬中継は、開催日 64 日ありますが、そちらをすべて SV2 というサブチャンネルでオンエアいたします。エンタテインメントの方では「キンシオ」「しゃかりき」「クルマでいこう！」こちらも次年度編成いたします。その後、and more ということで、「トモダチゲーム」。こちらは製作委員会方式での番組になっております。tvkをはじめ、U5 局、千葉、埼玉、KBS さん、それと共に名古屋のメ〜テレ、北海道の HTV さん九州・福岡の KBC さんというテレビ朝日系列から 3 局、全 8 局でオンエアします。「トモダチゲーム」自体は非常に原作が重版を重ねて人気のあるコミックでして、こちらを全部で 4 話ドラマ化、その後に映画 2 本という形です。その後購入になりますが、「チャーリーズ・エンジェル」、今「シーズン 2」をオンエアしておりますが、「シーズン 3」。朝の 7 時から 7 時 30 分というところには、「ウルトラマンティガ」。「ウルトラマン」「ウルトラマンセブン」と編成していましたが、「ウルトラマンティガ」です。その後土曜日 8 時から「ガリレオ X」というサイエンス番組ですが、こうしたものを 4 月から新たに編成いたします。また昨年 4 月から行っておりますが、鉄道運行情報、データ放送を、朝の時間帯、放送開始から朝 8 時半までは tvk に合わせると自動的に鉄道運行情報がポップアップされる仕組みになっておりますので、是非ご利用いただければなと思っております。簡単ですが 4 月編成の説明でした。

山田委員長

はい、ありがとうございました。事務局からタイムテーブル、3 月 4 月の特番一覧表、そして 4 月編成について説明がございましたが、これについて何かご意見、ご質問等がございましたら。

林委員

いいですか

山田委員長

はい、どうぞ。

林委員

3 月 19 日「相模原市特番」、これはどういったものですか。

近藤編成部長 こちらの方は前回ご紹介しましたが、相模原市さんのリニアモーターカーであったり、これからの相模原市の未来を描いていく番組になっています。

林委員 わかりました。

山田委員長 他にございませんか。

白石委員 川崎競馬、今どうなんですか？盛況なんですか。

近藤編成部長 私も1月に行かせていただきましたが、18時以降ですか、会社終わりの方、若い子も行かれるようになっていきますね。しかもきれいな観覧席に作り替えましたし。今、大井はトゥインクルレースと、非常に大きくやっていますが、川崎競馬自体も、その昔のどんよりした雰囲気はなくなっていくのかなという。道も、その昔はあっちの方に向かうと危なっかしいイメージがあったんですが、川崎駅から送迎バスがジャンジャン出ていますし、向こうへ行って若い子だったり、18時、会社帰りの方たちでにぎわっていくんじゃないかなという感じがします。

山田委員長 ギャンブルということで敬遠されがちですが、やはり馬が走るのを目の前で見るとすごくきれいで華々しい感じがしますよね。騎手の着るユニフォームですか、その色も違いましたね。ギャンブルということでしてしまうと。

近藤編成部長 そうですね、はい。

山田委員長 で、馬そのものもなんかすごいきれいですよ。

近藤編成部長 ナイター競馬だと照明に当たった馬の艶ってすごくきれいだなと思いますね。

山田委員長 他にございませんか。ないようでしたら視聴合評へ移りたいと思います。

近藤編成部長 今回の視聴合評は横浜市の広報番組「ハマナビ」です。今日出席いたしますのは、コンテンツ局次長の太谷とプロデューサーの三枝になります。よろし

くお願いいたします。

視 聴 合 評

山田委員長 この「ハマナビ」という番組も、テレビ神奈川の結構代表的な番組かと思えます。番組を制作された三枝さんから、番組コンセプトなどをお話いただいて、委員の皆さんから意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

三枝プロデューサー はい。横浜市の広報番組で、当然tvk開局当時から続いています。「ハマナビ」は2014年度から始まった30分番組で、「横浜をより深く、より見やすく、そして身近に」というキーワードを立てながら横浜市の情報や深みのある情報、価値ある情報を横浜市の方、そして制作スタッフともども会議等を重ねて検討して紹介していく番組です。基本的には市の行政番組で、堅くなるイメージを持たれがちなのですが、番組としては明るく楽しく役に立つと。それで横浜市の方にとっては、「へえ、知らなかった」という部分を是非紹介したい。市から遠くの方には「横浜っていいところだな、遊びに行きたいな」というところをご紹介するようにしております。弊社の行政広報番組は他にも川崎市さんがあるんですが、基本は他の番組はスタジオベースなんですけど、オールVTR、取材ということで、いろんな見せ方ができるのも特徴かなと思います。今回、2016年度に関しては根岸アナウンサーはじめ佐藤美樹さん、芦崎愛さんという女性2人、計3名がリポーターというよりナビゲーターというポジションで横浜の魅力を紹介していくといった番組になります。今回ご視聴いただきました区の特徴ですが、これは前番組である「ずばり横濱」というところから始まりまして、2巡目になります。区の特色をはじめ、地元情報は視聴者の方にとっても好評な企画で、ただどうしても1巡目は区長のインタビューがあったり、区で紹介したい取り組み制度を盛り込まなければならないという、やや縛り的なものもあったんですが、2巡目は逆にそういったものを取り除いて、区在住

の方も知らない情報を見せながら、情報番組として活用できるような内容にしています。ただそれでも、情報だけでなくやはり地元に住らしている方が、この青葉区にしても、新しい地域住民と古くから住まれている方がうまく融合して街づくりに貢献しているという部分の地域の魅力を出せるような形の特色です。

山田委員長 これは、横浜市の広報課から依頼があって番組を作っているわけですよね。で、18区のうちいくつか終わっていますけれど、そのたびに各区役所の広報関係というか、地域振興課、そういったところは打合せに入っているんですか。

三枝プロデューサー はい、おっしゃる通りで、まず市民局広報課の方と制作スタッフであらかじめ方向性を決めて、それをもって各区の区政推進課、いわゆる広報の窓口の方に改めてご相談と、私たちが知らない地域ならではの情報を共有させていただきたく打ち合わせをして、内容を決めています。

山田委員長 はい、ありがとうございました。それでは委員の皆さんからご意見などを頂戴したいと思います。林さんからお願いします。

林委員 ずいぶん長い番組で、私も見ているんですが。これは先ほど言われましたけど、取材先については、かなり市の意向が反映されるという感じなんですか。まずちょっと、それを聞きたいです。

三枝プロデューサー はい。市を紹介していくということをあまりにもこちらが全部取り入れると、やはり堅くなったり偏ったりするので、実は企画会議というのを毎月やっておりまして、その段階で私たち制作スタッフと、構成作家が2名この番組に入っております。そして市民局広報課の皆さんと企画を持ち寄って、決まった時点でこういった具体的な内容、取材先コンテンツなどを決めていくんですが。ただ必ずしも市の意向が全面ではないんですが、ただ一点、やはり市の行政番組

なので、なぜこのお店、この場所を取り入れたかという理由づけがとても大切になってきますので、その背景が今回では「青葉ブランド」に入っているところですか、地産地消に貢献しているお店ですか、そういった裏の理由を付けての反映になります。

林委員

わかりました。なぜそういうことを聞いたかと申しますと、ナビゲーターが根岸さんですよね、地元出身だということで。できれば青葉ブランドのお店を紹介するということに制約はあったんでしょうけれども、どうせのことなら根岸さんが、そこに知っているお店が入っている、根岸さんがいつも行っていらっしゃるようなところ、なければしょうがないですが、なくても地元にお住まいでしょうから知識はおありなわけですよね。そういったところを紹介していければ、もっと実がある、実がなかったとはいいませんけど。特に2番目の「寺家スタジオカフェ」ですか、あれはちょっとあっさりしすぎてたかなという気がしました。要するに、あれこれ詰め込み過ぎたんじゃないか、30分番組で。「知ってほしい、遊びに来てほしい」というのは番組の趣旨だとわかるんですが、あれもこれもというのが多かったかなと。たとえばお店の紹介にしても、もう少し絞った方がいいかなと思ったし、「来てほしい」というのであれば、寺家ふるさと村などはもう少し詳しく丁寧に説明していただければ。ちょっと梅林だけの、誰も来ていない梅林という感じがしないでもなかったし、彼も地元っ子であれば、また「来た」という話もされていましたよね。その辺のところを、もうちょっと話してくれても良かったなど。とにかく地元で暮らしているんだから、もうちょっと地元っぼさを、番組に彼の思いなりも出してくれても良かったんじゃないかと、そういう気持ちはしました。それから、モダンとクラシックが混在している、我々も青葉区についてはそういう認識を持っているんですが、そういう意味では、伝統芸能をやっている方の紹介は良かったと思います。ただ

そうであれば、先ほど申し上げましたけど、もうちょっと、あれも何かコマ切れのような紹介になってしまって、惜しいなという気がしました。もう少しあそこに集っていらっしゃる方の話も聞きたかったし、どういったことで活動し、「次はどこで活動しますよ」というお知らせも聞きたかったし、そんな感じを強くしました。いろんな店が出てきましたが、ラーメン店なんかは非常に個性的な。非常に青葉区を盛り上げていこうという店主とか。食レポは定番なんでしょうけれども、もう少し、行って食べてみたいと思うような食レポが。根岸さんもそろそろ中堅の域にお入りでしょうから、もう少し「行って、食べてみようかな」という。コーヒーの味といっても具体的にどんな感じなのかなという。私もコーヒー味のラーメンは聞いたことがなかったので、そういう意味ではラーメン好きな感じがあると思うんですが、その辺はもう少し詳しく食レポしてもらいたかったなという気がします。最後に、ズバリ青葉区を言葉にするとありましたが、少しちょっとありふれたといっちはいけないですが、もう少しギョッと訴えかけるような、これは取材先の方に求めるのは酷かもしれないけれど、もう少しそういったところのキャッチコピーが強烈であってほしいなという気がしました。注文ばかりで申し訳ない、以上です。

山田委員長

はい、ありがとうございます。いつもでしたら最後にいろいろ反論とか、お話いただけるんですが、今日はちょっとこちら側の人数も少ないものですから、今のところで反論や、「そうじゃないんだよ」というところがありましたら、三枝さんの方からお話していただけますか。

三枝プロデューサー

林さんがおっしゃったように、「内容が詰め込みすぎ」というご意見を頂戴しましたが、実は先日横浜市さんと今年度の番組総括ということで振り返ってどうであったか、来年度に向けてという会議の場を設けたんですが、そこでも「内容はちょっと詰め込み過ぎかな」と。やはり視聴者の方はもっとのんびり、そし

て情報を吟味したものをじっくり見たいという要望も確かにあつたりします。そして年齢層もわりとファミリー層が中心ですが、結構50代60代の方が見ていると、ちょっとテンポが速すぎて追いついていけない部分というのかなり感じておりますので、来年度に向けてはそれも、今回先日の会議でそれぞれ反省点として受け止めたので、また次年度にはそういうものを加味した作り方をしたいなと思っております。また最後のフリップ。これはやはり地元の方がどう思っているかということで、2巡目から入れた演出のひとつなんですが、やはり難しさは、向こうの方の言葉なので、こちらから「これ」ということはいえないし、いっちゃいけないことなので、そのあたりは各ディレクターが取材先で、「こういうことをやってもらいます」というときに、なんとかうまく、やや誘導するような打合せをするのと、どうしても偏った言葉が集まってしまうとつまらないので、それもロケ現場で、「実は、先に取材したらこんなことをおっしゃっていたので、ご主人は違うのを書いてください」と、誘導しながらやっているんですが、人任せなので、そこうまく打合せとかの中で、うまくいいキャッチコピーが出るようなことで。まだ残り8か所残っていますのでやっていきたいと思えます。

山田委員長

ありがとうございました。では続いて吉川さん、お願いします。

吉川委員

「ハマナビ」で区特集という企画自体は、とても良かったと思います。最初の区の特徴もありきたりのものばかりではなくて、たとえば「平均寿命で全国1位になったことがある」とか、そんな情報まで入れられたのも良いと思いました。気になった点を以下に申し上げます。先ほど「内容を詰め込みすぎ」というお話がありましたが、私は内容を詰め込みすぎというより、流れが非常に悪いなと思いました。番組のつなぎ方の悪さがあると思います。たとえば冒頭、私は夜中に見たので寝ぼけていなければですね、高円妃殿下の三溪園の催しと

か、もう一個の告知が突然入ってきて、そこからコマーシャルを挟んでいよいよ青葉区の話っていくんですが、告知がいくつも分断されて入ってくるんですよ。途中に取材対象を応募してくださいと。梅林のメールでやって下さった方に、それで「プレゼントはこんなファイルがもらえます」と。それがあつたかというと最後の方でまた「横浜セレクション」でしたっけ、あれの告知ですか。そういうのが流れを阻害してしまうので、うまく告知は告知で使ってあげばいいのになと、ここはまず残念に思いました。それからさっきもお話が出ましたが、取材対象者に青葉区のイメージを聞いていて、それがインパクトがあるかないかは別として、それを何でつなぎに持っていかないのかなと。たとえば「緑豊か」って出たら、せっかくだから「緑豊か」につながるんであれば、本件でいえば寺家のふるさとの森に持っていけば、私はいいと思います。そして新旧住民というか、レトロとモダンというテーマがあるとしたら、寺家スタジオカフェと、レトロなラーメン246の対比みたいな。こういう言葉から流れをもっていけるのに、ただ聞きっぱなしのイメージで終わってしまっている。それも次の番組の流れの中に生きていないというのは、とってももったいないと思います。それからさっきも申しあげましたが、視聴者に「取材対象の応募を」といって、すごくインパクトのある告知が繰り返されて、そこから無理やり花つながりで、「フラワーネックレス青葉2017」の告知に行っていました。これも流れが非常に悪い。それからテロップ使いの不自然さ。これは、ケーキを食べた根岸アナのコメントや店長のコメントが、逐一全部テロップに流れるんですよ。でも情報番組なので、それは視覚障害者のためなのかなと思うと、でも網羅的に、それだったらなされているべきなのに、そういうところどころのコメントだけが丁寧で、ちょっとバランスを欠いている。やはり肝心な情報に絞ってテロップというのは、もし視覚障害者のためのものという位置づけでなくて、

ある程度そういう機能があるとしても、情報を分かりやすく伝達していくということであれば、肝心な情報に絞ってまとめて流していくべきではないかなと思いました。それから3点目が店の紹介の仕方。林委員もおっしゃっていましたが、根岸さんの食レポは、ご本人は一生懸命工夫されたんだと思うんですが、細かすぎてスポーツの実況中継を聞いているようで、おいしそうじゃないんですよね。解説調で。やはり食レポなのでもっと素朴に、おいしいと感じたのか感じていないのか。ただもちろん「おいしい」というだけではボキャブラリーが貧困なので、そこに解説をすべきであって、感情がこもってなくていくら「中に何とかと何とかの層が入っていて」といっても、ちょっともったいないなと思いました。それからお店の紹介のところ、寺家スタジオカフェはまだメモを取る時間があつたと思うんですが、最初のピュイサンズはあつという間に画面が展開してしまって、あれでは電話番号とか、はじめて特にあそこは紹介 1 件目なので、「あ、紹介されるんだ」と思ってメモを取ったときは無理だなという感じだったんじゃないかと。それから画面の一覧性が、絵の地図といろんなものの情報が盛り込みすぎていて、もっと絞って一覧性のあるものの方がいいと思います。是非次回以降工夫してほしいなと。寺家ふるさとの森については、私のようなものにはここがどういう施設かが全くわからなくて。入園料がいるのか、いらぬのか、開園時間があるのかないのか、ただのオープンで梅林があるのか、それだけなのか、他の見るべきところがあるのか。そういう肝心の情報がなかったなと。最後にいいなと思ったところは、スイーツの画像とかカメラワークはとてもきれいだったのと、それとコーヒー味は取材対象として非常にインパクトがあつて、「こんなのがあるんだ」と思って、非常に面白かったです。以上です。

山田委員長

いろいろ辛口の意見がきまして。

三枝プロデューサー「ハマナビ」では、前半CMに入る前に今回の特集のテーマをやるのと、直近の横浜市政に関わるトピックス、これはほとんど報道の素材等を利用しているんですが、「こういうことが行われました」というので、どうしても情報が多くなってしまう。また、特集ごとに取材先のインフォメーションを入れていく。それでほしい10秒以上は必ず入れようとするんですが、おっしゃる通りいろんな地図情報、営業情報とか入ってくるので、なかなか肝心の問い合わせとかは、初見の方にはメモできないので、是非反省点として生かしたいなと思っております。後半は、やはり横浜市の行政番組なので、いろんな情報を入れるということで、番組の特集は当然ですが、前後に情報告知が入ってしまうということで、ちょっと流れは、もしかしたらおっしゃるとおり分断されてしまうのかなという感じはしました。フリップをなかなか生かせないというのは、先ほど林さんもおっしゃいましたが、基本的にはその場で感じたことを書いていただいて。取材日の1日ないし2日でまとめる。当然行き先が決まっていて、なかなか区の方がどんなことをいうかは連動できていないので、うまくその辺も出たときに編集をつなげるかどうか加味して、流れの良さを今後検討していけたらいいかなと思います。テロップはおっしゃる通りで視覚障害者用で、行政番組なので。県の番組ですと当然手話を入れているんですが、手話を入れるか、こういう字幕でというのは横浜市さんの判断で、じゃあ横浜市の判断では字幕でやろうということで、比較的多めに入れてあります。というかほとんど文字がある状態で、今どういうやり取りをレポーターとお店の人がやっているかということを当然入れている感じです。これは横浜からの要望もあるんですが、これだと、なかなか肝心の情報がどうかということが出て来るんで、ある程度言葉のなぞりだけではなく、言葉のやり取りの中でも説明的なテロップとして、概要であったりは長めにテロップを表示をして、情報を提供するように心

掛けていますが、各ディレクターごとに「ここは言葉に出したり」「ここは情報テロップで」というところがまだちゃんと統一されていない部分もあるので、見にくさというのが出て来るのかなというのが、反省点の一つとして出させていたきたいと思います。根岸アナにはきつく、「食レポを変えてちょうだい」と。

山田委員長

ありがとうございました。続きまして白石さん。

白石委員

私は工場地帯で仕事をしていましたので、東京から来ると匂いが臭い、空気が汚い、音が大きいとかそういう東海道沿線で見えていたんですが、青葉区が開発されて。あそこはテレビドラマでもしょっちゅうやったんですよね、昔。ハイソなドラマですよね。奥さんも旦那も犬までも、高級な、我々の手が届かないような犬もいるわけです。家も大きい。駅名も鶴見、生麦、匂いがつくぐらい。向こうはたまプラーザとかあざみ野とか、なんかハイカラだったんですよね。ですからこの青葉区を見るのは楽しみにしていました。どういう生活をしているのかと。青葉ブランド、あの中でケーキとか出ていましたが、こっちで売っているよりおいしそうだなと思いました。パンフレットはもらえるようですが、ぜひ行ってみたいと思いました。我々が感じた青葉区、たまプラーザはちょっと落ち着いてきたのかなと思いながら。寺家、あれは前から「じけ」と読むんですか。

三枝プロデューサー

そうらしいです。ディレクターも町名の由来とかを調べたんですが、なかなか諸説ありで「これだ」というのはいえなかったみたいです。でも昔から「じけ」と。

白石委員

たまプラーザだったんで、読み方を変えたのかなと。違うんですか。それからコーヒラーメン、お客が一人もいなくて、せっかくなら食べてみようかなというところを取り上げてあげないとかわいそうだなと。ミニブタもあの番組で取り上げるというのは、芸が達者だとか、肉にしたらとてつもなくおいしいとか、何

か取り柄がなくて、ミニブタが太りましたと。それだけで訴えるのはミニブタだって気の毒だよ、さらし者にして。なんか特徴があったらよかったなというふうに思いました。

山田委員長

ありがとうございました。続いて布施さんお願いします。

布施副委員長

青葉区は私の親が住んでいて、今は亡くなりましたけど、興味を持って見ました。それとは別に、私が横浜市の監査委員をやっていたときに、各 18 区の広報の推進誌を出しているのに、「ひとつもそれが実っていないじゃないか」という市民の意見が多くて、それで監査に行く。18区全部私が監査に行くから、どのような町なのかきちっと説明しろといったんです。その時にパンフレットを作って送ってよこせと。それともう一つ緑豊かな街とか、住みやすい町とか、そういうタイトルはやめろと。住みやすくない町なんてないし。緑の無い町はないわけで。そうじゃないタイトルを付けろといったら、これがすごく実際難しくて、うまくいかなかった。その区によってやはり雰囲気が違うし、住んでいる人の感覚も違うし、インタビューしても違うし、微妙に違うんですよ。そういうものをどうやって区役所が取り上げて、区の広報政策を実施していくかということが、難しいけどできるはずだと思ったんですよ。そういう感覚で見ると、今日は青葉区だったけど、18区全部やるんでしょう。18区のもものが1つのものになるわけです。これがディス・イズ・ヨコハマって。これを見てそれなりにバラエティがあって、ストーリーが展開されて見れるなという番組にしないとね、番組制作者としては腕が問われるわけ。だから事実をいうだけではなくて、自分の町、こういう町は「こうなんだよ」「1回行ってみようよ」という気持ちにさせるようなドラマ作りというか、そういうものが基本的にないようなら、18区見てもちっとも面白くないというか。青葉区の場合は私がちょっとでも知っていたから興味があったんだけど、それでも私のイメージとテレビの番組と

は違っているんだよね。当然そうだよ。一か所、あざみ野しか行っていないから。それも含めてどうやってグチャグチャと自分たちで作り直して、「1回は見に行ってください、面白いよ」というものにできるかということがポイントだと思う。だとすると、それなりのストーリーが展開されていないと、見るものにとっては全くつかみどころがなくて、番組としてはよくわからないなど。今日の番組も悪いとは言っていない。一生懸命やっていて面白かったんですけど、それをもうちょいと手を入れると、もっともっと面白い番組なので、これはテレビ神奈川の宝になるような。それをもう一回見直して地域の番組を作りましょうと、そういうふうになる可能性大ですよ。私は、そういう意味で応援する意味で、もうちょいと努力をすとおもしろいなと思いました。

山田委員長

ありがとうございました。青葉区っていうのは港北区から分区されたものなんですよ。それで港北区というのは本当に広いエリアだったんですが、それがいつかに分区されて。そうすると面白いもので、青葉区としての歴史が、作っていくんですね、その街の雰囲気。今回の番組でそれを感じました。寺家ふるさと村は昭和50年ごろ取材で訪れたことがあったんですが、そのころの寺家というのは、「ヨコハマにもこんな田舎があるのかな」というぐらい牧歌的なところでして、緑が濃く、いろいろな花々が咲いてのんびりと牛の牧場だったり、そんなような土地でしたが。久しぶりにこうしてみると、「こんな風の様変わりするんだな」という思いがありました。番組そのものとしては、こういうものもできたんだな、こういう風が変わっていったんだなということで、面白さは感じました。ただ吉川さんの話にあったように、ちょっと分断されてましたね、いろいろな情報を入れて。あれは最後にまとめても良かったかなと。それから、取り上げる取材先、テーマがちょっと欲張り過ぎていた感じがしました。あれをもうちょいとセレクトして、その分時間を少なくして、時間を分けていった方

がよりよい番組ができたのではないかと思います。ナビゲーター役の根岸アナウンサー、彼は非常に清潔感があって滑舌もいいんですが、ちょっと服装が堅すぎたなという感じがしました。もう少しリラックスした感じでもよかったんじゃないかなと思いました。これはせっかく横浜市の広報番組で、最初にお伺いしたように、各区役所の区政推進課が行っているのであれば、区役所には名物職員がいるはずですよ。彼らをナビゲーター役に引っ張り出してもいいかなという感じがします。そこにプロのアナウンサーが行って助言をすとか、「こういうことですね」と、合いの手を打つような感じにしていって、もうちょっとふくらみのある番組ができるんじゃないかなと思いますね。是非これから続けていくために、検討していただきたいと思いますね。せっかく市長がいろいろなラジオやテレビに出過ぎるようですので、職員はそれ以上に出て行って各区をPRするのも大事なことだなという感じがします。以上です。他に言い足りなかったこと、言い忘れたことがございましたら。

白石委員 かやの木は、美的センスがないな

三枝プロデューサー 鉄骨の。

白石委員 鉄骨の。あれは安全性を考慮して柵を作ったと思いますが。それからもう一つ、かやの木は、600年経った木なら、横浜市、神奈川県、国の指定している木があると思いますが、そういうのをしているのかしていないのかはよくわかりませんが、600年の古木だったら、そういう名木になるはずなんです。

三枝プロデューサー はい、されています。字幕とかナレーションでもちらりご紹介させていただきました。

白石委員 それを出すんだったら見ていただきたいわけですよ。ですから鉄骨はちょっと安全性を重要視したことはよくわかりますけど、名木だったら、もっと見てもらえるように。横浜市でも青葉区でもいいんですが、考えてあげたらいいと思

います。

山田委員長 三枝さんは、コーヒーラーメンを召し上がったんですか。

三枝プロデューサー 食べていません。ディレクターから聞いたんですが、当然コーヒー好きな方はいいそうです。吉川さん、コーヒー、ブラックとか大丈夫ですか。ブラックが好きな方にはおすすめだそうです。ブラックじゃなくて砂糖やミルクを入れる方にはどうかという感じらしいんですけど。基本コーヒーなんです。コーヒーも毎月豆を変えるそうです。それによって風味が違うそうで。意外と客が多いんです。「この時間帯に取材するので、お客さんをストップしてくださいね」といわないと取材できないぐらいで、人気店なんです。あのメニューを食べているとは限らないんですが、他のメニューを食べているかもしれませんが、ただ名物なので。他のものをやっても良かったかもしれない。

山田委員長 宮元お囃子連というのは、僕も知らなかったんですが、そういうのが青葉区に以前のころから伝わっていたんですね。あれは地元のテレビ局としては、大事にしてやっていただきたいという感じがしますね。

三枝プロデューサー 僕もあんなにお祭りが、三基の神輿がというのは全然イメージになかったの。宮元お囃子連に関しては、本当に小中学生の若い方が50名ぐらい在籍されているということで、すごく意外だったんですね。そういう中であいう伝統を守る、多分新しい住民の方も入っていたので、今回それをうまく取材できたのは、こちらとしてもよかったなと感じたところです。

山田委員長 他にございませんか。ないようでしたら3番目、その他報告事項に移りたいと思います。まず視聴者対応についてお願いいたします。

近藤編成部長 まず視聴者対応です。A4 の表裏の資料になります。表から「あっぱれ！ KANAGAWA 大行進」「かながわ旬菜ナビ」「カナフル TV」「クルマでいこう！」です。「ハマナビ」ですが、今回の青葉区にご意見いただきまして、「アナウン

サーの青葉区愛が番組から伝わってきて、ほんわかとあたたかい気持ちになりました」というご意見を頂戴しております。本当にローカルの情報番組に多くのご意見をいただいておりますので、布施先生がおっしゃるように力を入れてローカル情報番組を、もっといいものにしていきたいと思っております。以上になります。

山田委員長 事務局から視聴者対応について説明がございましたが、これについてご意見、ご質問がございませんか。よろしいですか。それでは、前回の番組審議委員会の議事報告に移りたいと思います。

土屋 先ほどオンエアが終わったばかりのものです。今日放送されたものです。

議 事 報 告

山田委員長 これで本日の議題はこれですべて完了しましたが、何かお話ししたいようなことはございますか。よろしいですか。では、事務局の方から連絡事項がありましたらお願いします。

近藤編成部長 次回ですが、4月18日の午後2時からテレビ神奈川第1会議室、ここで行います。視聴合評番組ですが、3月11日にオンエアが終わっておりますが、報道特別番組「僕の電気～東日本大震災から6年～」を視聴合評番組とさせていただきます。もしお録り忘れなどありましたら、ご連絡いただければと思います。よろしく願いいたします。以上になります。

山田委員長 それではちょっと時間が早いようですが、何も無いようでしたら、これで閉会とさせていただきます。ありがとうございました。